

第6章 ゼネラル

目次

6.1	仕様	1	6.1.22	定期交換部品	6
6.1.1	製品コード	1	6.1.23	アライメント仕様	6
6.1.2	機械のサイズ及び質量(重量)	1	6.1.24	ソフトウェアのダウンロード	7
6.1.3	設置スペース	2	6.1.25	コントローラ仕様	7
6.1.4	水平度	2	6.1.25.1	コントローラモジュール基本仕様	7
6.1.5	電気仕様	2	6.1.25.2	入力部性能仕様	8
6.1.6	設置環境	2	6.1.25.3	PDL と対応インターフェース	8
6.1.7	WarmUp	3	6.1.25.4	PDL とデータ解像度	8
6.1.8	FPOT(First Print Output Time)	3	6.1.25.5	プリントシステム仕様	9
6.1.9	プリント速度 (PPM)	3	6.1.25.6	プリントモード/カラーモード/プリント解像度/プリント階調	9
6.1.10	給紙トレイ容量	4	6.1.25.7	オプション ROM 使用時の FPOT	10
6.1.11	用紙サイズとセット方向	4	6.1.25.8	メモリー構成時のプリント仕様制限	10
6.1.12	紙質量	4	6.1.25.9	総量規制 (Cin)	10
6.1.13	自動両面プリント	4	6.1.25.10	線再現	10
6.1.14	MSI	4	6.1.25.11	オプション組み合わせ	10
6.1.15	排出トレイ収納枚数	5	6.1.25.12	付属 CDRom ソフトウェア構成	11
6.1.16	用紙残量検知機能	5	6.1.26	オプション	11
6.1.17	解像度	5	6.2	工具/サービス消耗品	12
6.1.18	用紙指定機能	5	6.2.1	工具	12
6.1.19	イメージロス	5	6.2.2	サービス消耗品	12
6.1.20	最大印字可能領域	5	6.3	消耗品	13
6.1.21	消耗品仕様	6	6.4	モデフィケーションについて	14
			6.4.1	記号の説明	14
			6.5	設置	15
			6.5.1	IBM 5591 設置手順	15
			6.5.2	プリンタ環境の設定	19
			6.5.2.1	プリンタ環境の設定の流れ	19
			6.5.2.2	クイックセットアップ方法	19
			6.5.3	プリンタドライバのインストール	21
			6.5.3.1	ネットワーク上のプリンタへダイレクトに印刷する時	21
			6.5.3.2	SMB を使用して印刷する時	21

6.5.3.3.	サーバーを経由して印刷する時	22
6.5.3.4.	ローカルプリンタへ印刷する時	22
6.5.3.5.	プリンタドライバの自動ダウンロード	23
6.5.3.6.	最新ドライバの入手方法	23
6.5.4	Windows ネットワーク環境の設定	24
6.5.5	NetWare 環境の設定	25
6.5.5.1.	コンピュータ環境	25
6.5.5.2.	インターフェイス	25
6.5.5.3.	設定の流れ	25
6.5.5.4.	バイナリー接続の時の設定手順	26
6.5.5.5.	NDS 接続の設定手順	26
6.5.5.6.	その他の設定	27
6.5.6	UNIX 環境の設定 (プリント側のみ)	28
6.5.6.1.	対象クライアント	28
6.5.6.2.	インターフェイス	28
6.5.6.3.	プリンター側の設定	28
6.5.7	インターネット印刷の設定	29
6.5.7.1.	システム構成	29
6.5.7.2.	設定の流れ	29
6.5.7.3.	印刷先の設定とプリンタードライバーのインストール (Windows2000)	29
6.5.7.4.	印刷先の設定とプリンタードライバーのインストール (Windows Me)	29
6.6	撤収	30

6.1 仕様

6.1.1 製品コード

商品名	IBM パーツナンバー	XJ-Code (FX 使用)	IBM 機械番号
IBM 5591-001 (DocuPrint C2220 モデル T(Oct 仕様))	5591001	JJE	9700001~
IBM 5591-002 (DocuPrint C2220 モデル TD(Oct+Duplex 仕様))	5591002	JJE	9750001~
Cabinet	55P1186	JJE	-
1 TrayModule	55P1183	JJG	-
大容量給紙ユニット(TTM*)	55P1185	JJG	-
3 Tray Module	55P1184	JJG	-

注記 Duplex 仕様機には、256MB メモリーが標準装備。

* TTM :Tandem Tray Module
商品コードの組み合わせ発注により工場にて組み込み出荷される形態である。

6.1.2 機械のサイズ及び質量(重量)

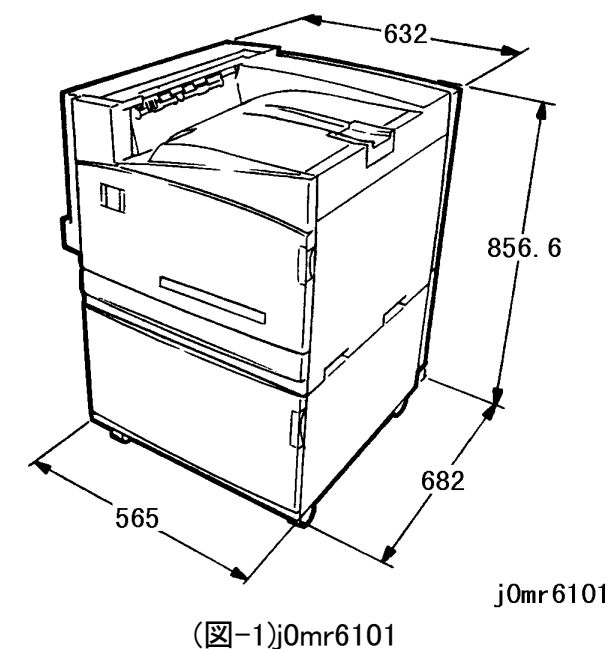
以下は、製品個々のサイズ及び質量(重量)である。

商品名	機械のサイズ(W×D×H mm)	重量(kg)
IBM 5591-001 (DocuPrint C2220 モデル T(Oct 仕様))	632×682×493	79.1
IBM 5591-002 (DocuPrint C2220 モデル TD(Oct+Duplex 仕様))	632×682×493	82.2
Cabinet	565×679×370	18
1 TrayModule	565×679×370	25
大容量給紙ユニット(TTM*)	565×679×370	40
3 Tray Module	565×679×370	30

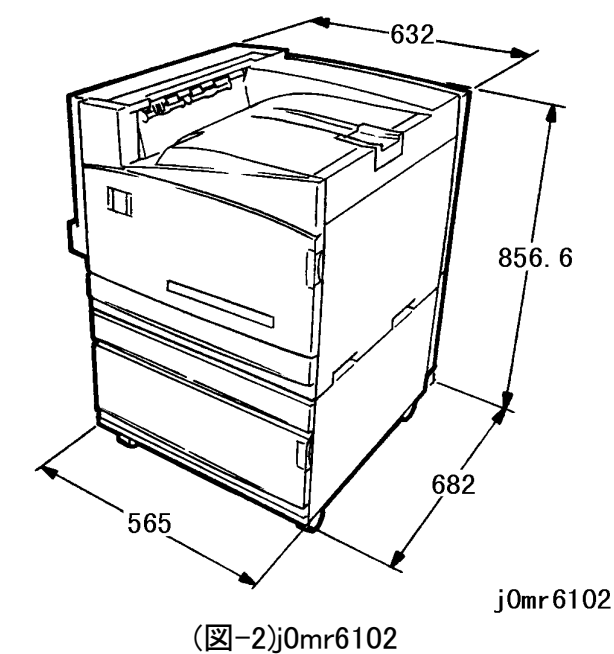
* TTM :Tandem Tray Module

組み合わせ時における機械のサイズ

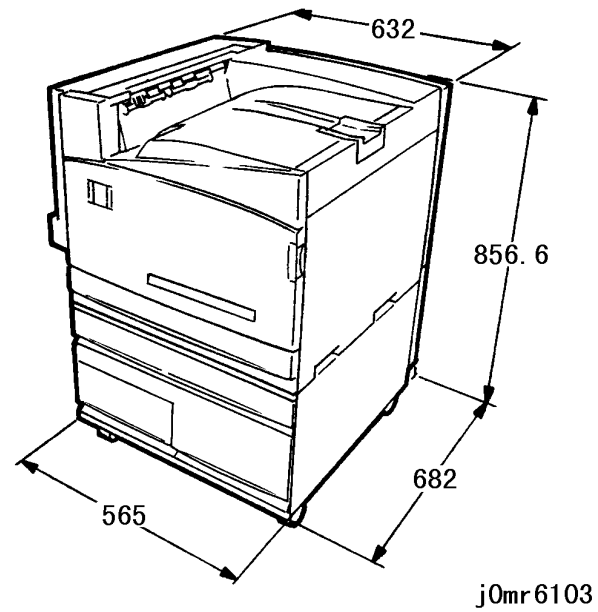
- IBM 5591 + Cabinet
(632×682×856.6 : W×D×H mm)



- IBM 5591 + 1 TrayModule
(632×682×856.6 : W×D×H mm)

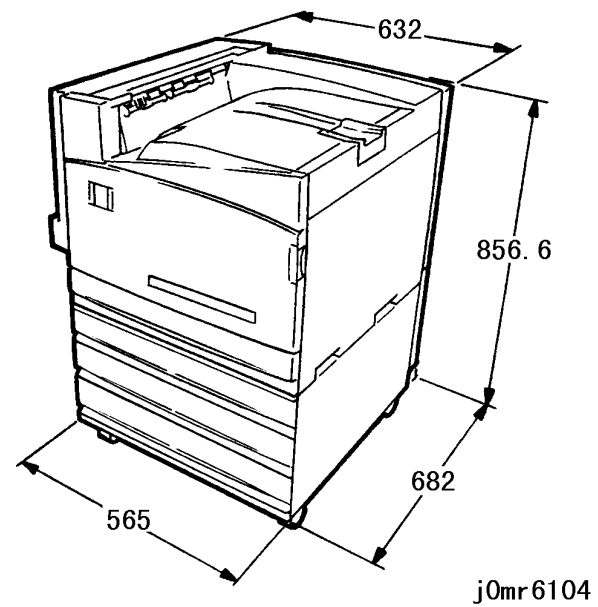


- IBM 5591 + TTM
(632 × 682 × 856.6 : W × D × H mm)



(図-3)j0mr6103

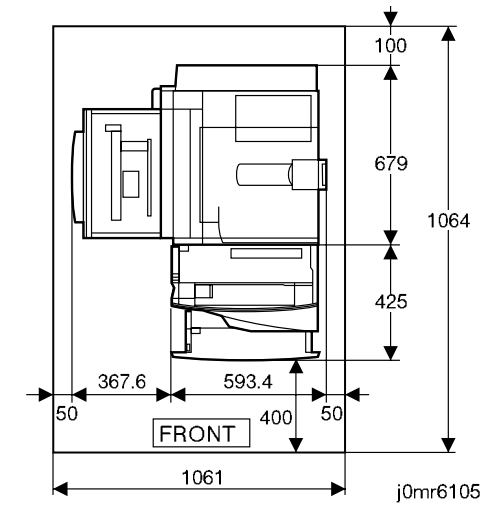
- IBM 5591 + 3 Tray Module
(632 × 682 × 856.6 : W × D × H mm)



(図-4)j0mr6104

6.1.3 設置スペース

設置スペースは、製品の組み合わせに影響されず以下値である。
1061 × 1604(W × Dmm)



(図-5)j0mr6105

6.1.4 水平度

水平状態及び、最大値が前後5mm、左右方向10mm以内で性能に支障なく稼動可能。

6.1.5 電気仕様

適用地区	電源電圧(V)	周波数(HZ)	最大消費電力(KVA)
日本市場	100V ± 10%	50/60 ± 3%	1.5

6.1.6 設置環境

下記使用条件下において、本仕様にて稼動が可能である。

温度：摂氏10度～32度

湿度：15%～85%

高度：0～2500メートル

但し、2000メートルを越える高地にて使用するときは、CEによる調整が必要。

6.1.7 WarmUp

Power ON時(または、省エネモード2)から、45sec以内で待機モードになる。

参考 省エネモード1から、30sec以内で待機モードになる。

(100V/摂氏20度/湿度60%にて測定)

6.1.8 FPOT(First Print Output Time)

FPOTの定義:待機モードでStartコマンドを受けてから1枚目の後端が排出口を通過するまでの所要時間。

モード	白黒	カラー
フェースダウン排出	8.6sec 以下 *	11.2sec 以下

*: 600×600dpi,1200×600dpi の時。1200×1200dpi の時は、カラー並となる。

測定条件

- ・給紙:トレイ1
- ・用紙/走行方向:A4LEF
- ・プリント指示:片面プリント
- ・排出:フェースダウン Exitトレイ(トップトレイ)

6.1.9 プリント速度(PPM)

プリントエンジンの連続速度(PPM)を次のように定義する。

1枚目の後端がEXITセンサーを通過してから、11枚目の後端がEXITセンサーを通過するまでの時間をt秒とし、 $[(60/t) \times 10]$ 式で与えられる1分間のプリント枚数は以下の通りである。

・トレイ普通紙

トレイで走行できる普通紙 (64~105gsm)のPPM/IPMIは以下の値である。但し、98gsmを超える普通紙は、CX281bのみ定着度を保証する。CX281b を除く98gsmを超える普通紙は、厚紙1としてMSIから走行する。

- ・白黒モード/カラーモード

用紙サイズ	Simp(PPM)	Dup(IPM *)
A4 LEF	22	18
A4 SEF	16	10
Letter LEF	22	18
Letter SEF	16	10
Legal SEF	13	9

用紙サイズ	Simp(PPM)	Dup(IPM *)
B4 SEF	13	9
A3 SEF	11	8

: IPM (Impression per minute) : PPM 表現ではこの数値の半分になる。

・MSI

MSIにおけるPPMは以下の値である。

紙種	サイズ	Simp(PPM)	Dup(IPM)
普通紙(64~105gsm)	A4/Letter LEF	16	16
	A3	11	8
薄紙(55~63gsm)	普通紙と同じ	—	
OHP	A4/Letter LEF B/W	8	
	A4/Letter LEF Color	8	
厚紙 1(106~169gsm)	A4/Letter LEF	8	
	A3	5	
厚紙 2(170~220gsm)	A4/Letter LEF	8	
	A3	5	
官製葉書	官製葉書 SEF	8	
ラベル紙	厚紙 1と同じ	—	

MSIから自動両面は可能であるが、普通紙定型のみである。

薄紙、OHPはトレイから送れない

98gsmを超える普通紙は、CX281bのみ定着度を保証する

CX281b を除く98gsmを超える普通紙は、厚紙1として走行する

OHPは横送り(LEF)のみとし、縦送り(SEF)不可

6.1.10 給紙トレイ容量

各トレイに収容できる用紙枚数は以下の通りである。

トレイ	収容枚数	最大サイズ	備考
標準トレイ	560 枚(P 紙) 参考: 530 枚(J 紙)、520 枚 (Green100)	(297 × 432) (mm)	IOT
3TMトレイ 2 3TMトレイ 3 3TMトレイ 4	560 枚(P 紙) 参考: 530 枚(J 紙)、520 枚 (Green100)	(297 × 432) (mm)	3TM オプション
1TMトレイ	560 枚(P 紙) 参考: 530 枚(J 紙)、520 枚 (Green100)	(297 × 432) (mm)	1TM オプション
MSI	10mm スタック	(12" × 19") (mm)	参考: 100 枚(P 紙) 参考: 93 枚(J 紙)、 86 枚(Green100)
TTM	2820 枚(P 紙)(トレイ 2、3、4 の順)560 枚 × 1 段、980 × 1 段、1280 × 1 段 2520 枚 (4024DP)(トレイ 2、3、4 の 順)520 枚 × 1 段、867 × 1 段、1133 × 1 段	ハイスタック(297 × 216) (mm) ユニバーサル (297 × 432) (mm)	TTM オプション

6.1.11 用紙サイズとセット方向

給紙トレイの収容可能用紙サイズと用紙のセット方向は、以下の通りである。

・標準トレイ & 3TMトレイ

A3SEF B4SEF A4SEF A4LEF B5SEF B5LEF

Letter(8.5" × 11")SEF Letter(8.5" × 11")LEF A5SEF

Legal(8.5" × 14")SEF 11" × 17"SEF 八開SEF +六開LEF

Legal(8.5" × 13")SEF 8" × 10"SEF 8.5" × 5.5"SEF

・MSI 非定型 100~305mm × 140~483mmの間のサイズ

TTMハイスタックトレイ(オプション)

A4LEF Letter(8.5" × 11")LEF B5LEF

なお、工場出荷時のサイズセットは規定しない

6.1.12 紙質量

各々の給紙トレイで走行可能な用紙質量は以下の通りである。

No.1:64 - 105 gsm

No.2-4:64 - 105 gsm

MSI:55 - 220 gsm, OHP

TTM:64 - 105 gsm

CX281b を除く98gsmを超える普通紙は、厚紙1としてMSIからの走行とする

6.1.13 自動両面プリント

標準トレイ、1TM、3TM、MSI 及びTTMから送られた定形サイズ * 用紙に関して、自動両面プリント可能。

但し、用紙質量63gsm以下と105gsm超えの用紙は自動両面できない。MSIから走行できる坪量の用紙は、1枚ずつ手差しすることで両面プリントは可能。

紙質としては、OHP。用紙サイズとしては、12 × 18inch、12 × 19inchおよび12.6 × 19inchは自動両面できない。

片面/両面の切り替えは、コマンド指示により行う。

6.1.14 MSI

・用紙サイズと用紙のセット方

MSI の収容可能用紙サイズと用紙のセット方向は、以下の通りである。

最小 : 官製葉書縦送り方向セット

最大 : A3SEF セット/11" × 17"SEF セット

またフロント側のガイドを2段階に移動させることにより12" × 18"(19)SEF、12.6" × 19"SEFのセットが可能である。

・用紙質量/紙質

MSI で走行可能な用紙質量は、55gsm~220gsm である。

OHP, 官製葉書, 適用可能特殊紙, 薄紙(55~63gsm), 用紙質量105gsm超えの厚紙はMSIからのみ走行可能である。

OHPは横送り(LEF)のみとし、縦送り(SEF)不可。

FXはがき用紙4連(V423)は、縦送り(SEF)のみとし、横送り(LEF)不可。

CX281b を除く98gsmを超える普通紙は、厚紙1としてMSIからの走行とする。

6.1.15 排出トレイ収納枚数

収容枚数の平均値は以下の通りである。

・Bゾーン(通常環境下)

用紙種類	サイズ・方向	OCT なし	OCT あり
P 紙	A4L	400	200
P 紙	A3S	200	200
4024DP	Letter L	400	200
WR100(参考)	A4L	200	200

・A,Cゾーン(参考)(高温/多湿、低温/低湿環境下)

用紙種類	サイズ・方向	OCT なし	OCT あり
P 紙	A4L	200	100
P 紙	A3S	100	100
4024DP	Letter L	200	100
WR100(参考)	A4L	100	100

A4S、Letter S は収容性を規定しない

フルスタック検知：あり

収容性：折れ、順序の狂いなく、容易に揃えることができる。

排出方向：フェースダウン

6.1.16 用紙残量検知機能

トレイ1～トレイ4及びTTMにおいて、トレイに残っている用紙の枚数を0%、25%、50%、75%、100%の5段階で検知する。

6.1.17 解像度

主・副走査方向：600dpi

6.1.18 用紙指定機能

“用紙サイズ指定”でプリントが指示された場合、自動的に指定された用紙サイズの格納されているトレイを検索し、そのトレイを選択する。トレイを検索する時の優先順位は以下の通りとする。

- ・ 3TM(OPTION)構成時
トレイ1→トレイ2→トレイ3→トレイ4
- ・ TTM(OPTION)構成時
トレイ1→トレイ2→トレイ3→トレイ4

注記 MSI は用紙指定の検索対象トレイとはしない。

6.1.19 イメージロス

各用紙サイズに対して以下のイメージロスがある。

- ・ リードエッジ：4mm
- ・ サイドエッジ：2mm
- ・ テールエッジ：2mm

6.1.20 最大印字可能領域

イメージをプリントする事ができる領域を印字可能領域と定義し、最大印字可能領域は以下の通り。

幅：303mm

長さ：478.6mm

但し、用紙サイズが 12inch×19inch SEF、12inch×18inchSEF 時に適用される(12inch×18inchSEF は幅のみ適用される)。

6.1.21 消耗品仕様

・トナーカートリッジ

カートリッジ色	トナー充填量(g)	キャリア充填量(g)	ライフ(イメージ)
ブラック	410g	74g	12,000
イエロー	320g	58g	10,000
マゼンタ	320g	87g	10,000
シアン	320g	58g	10,000

注記 各色、残りPVが0.2Kになった時、UIに、メッセージを表示する。

注記 評価条件は、A4LEF、エリアカバレッジ5%である。

・ドラムカートリッジ

ライフ:24,000プリント(B5)

注記 評価条件は、A4LEF、FullColor:80%,白黒:20%である。

・トナー回収ボトル

ライフ:10,000プリント(Full Color 像密度:5%)

センサーが満タン検知後。900プリントにてプリンター停止信号を発生しプリンターを停止させる。

・ROSシールガラス清掃部材

清掃間隔:トナー回収ボトル交換時(10Kプリント時毎)に実施

ライフ:ROSシールガラスを8回まで清掃可能

6.1.22 定期交換部品

本体に構成される定期交換部品、及びその交換インターバルは以下の通りである。

#	定期交換部品	交換インターバル	ワーニング時期 残 PV*3	ユーザー 交換対象
1	Fuser ASSY	100KPV	0.9KPV	あり
2	IBT Belt CLN Assy	100 KPV	1.5KPV	なし
3	2nd BTR Unit	100 KPV	1.5KPV	なし
4	廃トナー回収 Box	10 KPV*2	0.9KPV	あり
5	ROS シールガラスクリーニング部材	10KPV*1	-	あり

*1 スペア用廃トナー回収ボックスに同梱され、廃トナー回収ボックス交換時に、ユーザがクリーニング清掃作業を行う

*2 下記のモード状態変化および12使用基準を基準値として算出している。

*3 ワーニングメッセージを表示するタイミング。表示後の残りPV(交換インターバルまでのPV)

6.1.23 アライメント仕様

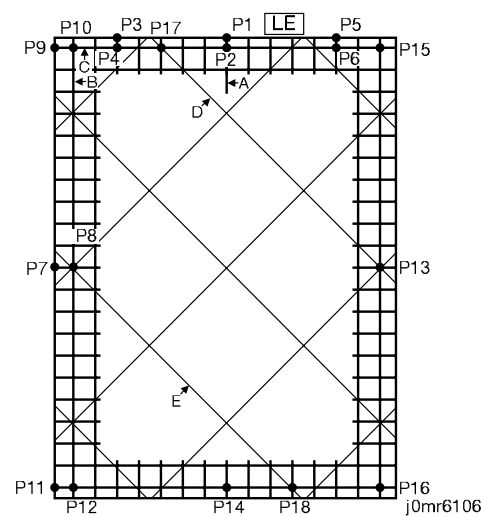
プリントの各アライメントの値を以下に記載する。

Appendix-1.1: アライメント仕様 (上段 Side1, 下段 Side2)

項目	トレイ1~4	MSI*	測定箇所
リード レジ	±1.5 mm ±1.9 mm	±2.2 mm -	(P1~P2) - 基準値*
サイド レジ	±2.0 mm ±2.4 mm	±3.0 mm -	(P7~P8) - 基準値*
リードスキュー (200mm)	±1.5 mm ±2.0 mm	±2.0 mm -	(P5~P6) - (P3~P4)
サイドスキュー (400mm)	±3.0 mm ±4.0 mm	±4.0 mm -	(P9~P10) - (P11~P12)
横倍率精度(全域) (100%)	±0.6 % ±0.6 %	- -	((P8~P13)-280)/280 × 100
縦倍率精度(全域) (100%)	±0.6 % ±0.6 %	- -	((P2~P14)-400)/400 × 100

項目	トレイ 1~4	MSI*	測定箇所
直線性 (縦)	0.8 mm 0.8 mm	- -	縦線 B と各横線の交点と、 P10 と P12 を結ぶ直線との 最大ズレ
直線性 (横)	0.8 mm 0.8 mm	- -	横線 C と各縦線の交点と、 P10 と P15 を結ぶ直線との 最大ズレ
直線性 (斜め)	0.8 mm 0.8 mm	- -	斜線 D と各線の交点と、 P17 と P13 を結ぶ直線との 最大ズレ、あるいは斜線 E と各線の交点と、P8 と P18 を結ぶ直線の最大ズレのど ちらか大きいほう
直角度(400mm)	1.7mm 以内 2.1mm 以内s	- -	P4 と P6 を結ぶ直線と線 A の交点からの垂線と P14 と のズレ
平行度(400mm)	±2.0 mm ±2.0 mm	- -	(P10~P12)-(P15~P16)
イメージロス (LE/TE/SIDE)	4 /2/2 mm 4 /2/2 mm	4 /2/2 mm 4 /2/2 mm	--

*:サイドガイドを正しくセットした状態で規定する。



(図-6)j0mr6106

6.1.24 ソフトウェアのダウンロード

コントローラからネットワークまたはパラレルポートを使用して、IOT ソフトのダウンロードが可能である。

6.1.25 コントローラ仕様

6.1.25.1. コントローラモジュール基本仕様

- ・ ESS Module

構成パーツ
CPsU PPC603e-200MHz(Kahlua)
プログラム ROM(8Mbyte)
RAM-DIMM 32Mbyte
Kahlua JBIG Motherboard
FontROM(8Mbyte)
拡張 ROM slot (1 slot)
拡張 RAM slot (1 slot)
拡張 FontROM slot (1 slot)
HDD 拡張 slot (1 slot)
LVPS DC ハーネス
UI オペパネハーネス
ビデオインターフェイスクーブル
UI オペパネ

6.1.25.2. 入力部性能仕様

仕様項目	性能
対応インターフェース (ローカルインターフェース)	1. セントロニクス Bi-centro(コンパチ、ニブル、ECP) Adobe 通信プロトコル(Raw, Standard, Binary, TBCP) 2. Debug Serial(ユーザーは使用できない) EP-SV 接続用と共用 ポーレート: 9600 ボー
対応インターフェース (ネットワークインターフェース)	1. Ethernet100Base-TX/10Base-T2 種類を同一ボード上でサポートする
対応ネットワーク(サービス)	LPD IPP SMB NetWare(3.xJ, 4.xJ, Pserver) AppleTalk 注記 PS キットのみ SNM PHTML/HTTP DHCP WinsClient DNS
対応ネットワーク(プロトコル)	TCP/IP(Spool/Non Spool) IPX/SPX NetBEUI UDP/IP
同時搭載	・全てのインターフェースを同時搭載可能 ・ネットワークプロトコルは転送プロトコルに合わせて自動的に切り替わる ・コンカレント受信可能

6.1.25.3. PDL と対応インターフェース

・PDL/Emulation(○: 対応・X: 対応せず)

	ART EX	PS	ART IV	ESC/P	HPGL/ HPGL2
LPD	○	○	○	○	○
IPP	○	○	○	○	○
SMB	○	○	○	○	○
NetWare	○	○	○	○	○
AppleTalk	X	○	X	X	X
セントロ	○	○	○	○	○

6.1.25.4. PDL とデータ解像度

・PDL/Emulation(○: 対応・X: 対応せず)

	ART EX	PS	ART IV	ESC/P	HPGL/ HPGL2
600 × 600 × 1bit	○	○	○	○	○
1200 × 600 × 1bit	○	○	X	X	X
1200 × 1200 × 1bit	○	○	X	X	X

6.1.25.5. プリントシステム仕様

仕様項目	性能
動作モード	走行モード/待機モード/節電モード 節電モードは Low Power Mode・Sleep Mode
対応プリント PDL	ART EX PostScript Level3 ART IV(ART IV IV+カラー対応) ESC/P(VP1000 エミュレート+カラー対応) HP-GL (HP7586, FX4036 エミュレート) HP-GL2 (DeskJet650C,FX4036 エミュレート)
対応クライアント OS	ART EX Driver:Win95/98,WinNT4.0/Win2000/ MePS(PPD 対応)Win95/98/Me,WinNT4.0/ Win2000 PS(PPD 対応): MacOS 7.5 以降
CMS 対応	ICM/ColorSync2.0 FX 独自自動カラーマネージメント
MIB 対応	Xerox Common MIB(XCMI)に対応
プリント・管理ユーティリティー	CentreWare Internet Services(EWS) CentreWare 対応 PrintXchange 対応 DocuHouse 対応
フォント(標準)	1. アウトラインフォント(各 PDL 共用)日本語 2 書体 + 欧文 15 書体 注記 日本語は平成 2. ストロークフォント(HPGL/HPGL2 専用) 欧文・カナ・日本語
フォント(オプション(PS 専用))	日本語 2 書体 + 欧文 136 書体 注記 日本語は平成

6.1.25.6. プリントモード/カラーモード/プリント解像度/プリント階調

・カラー

コントローラデータ解像度 (dpi)	600 × 600-1bit	1200 × 600-1bit	1200 × 1200-1bit
IOT 解像度(dpi)・画素分割数	600 × 600-1 分割	600 × 600-2 分割	600 × 600-8 分割
IE (黒文字のみ)	あり	なし	なし
スクリーン線数	134 線	150・200 線	200 線
階調数(コントローラ接続時) C/M/Y/K (DD 法使用)	81/81/81/81	145/145/81/129/ 81/81/81/129	256/256/256/256

・白黒

コントローラデータ解像度 (dpi)	600 × 600-1bit	1200 × 600-1bit	1200 × 1200-1bit
IOT 解像度(dpi)・画素分割数	600 × 600-1 分割	600 × 600-2 分割	600 × 600-8 分割
IE	あり	なし	なし
スクリーン線数	106 線	141 線	212 線
階調数(コントローラ接続時) (DD 法使用)	129	145	256

IE: Image Enhancement,
DD (Dither of Dot)法: スクリーンパラメータ設計手法。
スクリーン成長核を複数用いる事により、階調再現の能力を増加させるもの。
従って、ある濃度領域において、隣接核間によって形成される低線数テクスチャー構造
が生成される。

6.1.25.7. オプション ROM 使用時の FPOT

・APT EX の時

	カラー	モノクロ
600 × 600 × 1bit	15.5 秒以下	12.0 秒以下

・PS*2 の時

	カラー	モノクロ
600 × 600 × 1bit	16.5 秒以下	14.0 秒以下

6.1.25.8. メモリー構成時のプリント仕様制限

PS は増設 RAM 実装時のみ可能

○: 基準テストチャートは全てプリント可能

△: 基準テストチャートでメモリ不足により TBD%アポートされることがある

×: プリント不可

*1: 増設 RAM 実装時のみ可能

注記 基準テストチャートは、SVC の標準テストチャート。

・標準メモリ時(ART EX)

	A3 片面	A3 両面
600 × 600 × 1 bit	○	NA
1200 × 600 × 1 bit	△	NA
1200 × 1200 × 1 bit*1	NA	NA

・増設 RAM 追加時(ART EX/PS)

	A3 片面	A3 両面
600 × 600 × 1 bit	○	○
1200 × 600 × 1 bit	○	○
1200 × 1200 × 1 bit*1	○	○

6.1.25.9. 総量規制(Cin)

ART EX:

色変換後のトナー総量規制値を 280%とする。ただし、色変換後の TRC で実質的に 240%以下に抑制される。

PS:

TRC 後の総量規制値を 280%とする。ただし、色変換後の TRC で実質的に TBD%以下に抑制される。

6.1.25.10. 線再現

標準状態での最小描画線幅は 2dots/600dpi とする。

6.1.25.11. オプション組み合わせ

○: 組み合わせ可、X: 組み合わせ不可、△: 条件付き組み合わせ可能

	増設 RAM	内蔵 HDD	PostScript キット	ART IV/ Emulation キット
増設 RAM	X	△3	△1	△4
内蔵 HDD	△3	X	○	○
PostScript キット	△1	○	X	X
ART IV/Emulation キット	△4	○	X	X
自動両面	△2	○	○	○
1 Tray モジュール	○	○	○	○
3 Tray モジュール	○	○	○	○
TTM(Tandem Tray Module)	○	○	○	○
専用キャビネット	○	○	○	○
OCT	○	○	○	○
Lite Finisher	○	○	○	○

△1: PostScriptキットは増設RAMが必須

△2: 自動両面は増設RAMが必須

△3: 内蔵HDDは増設RAMが必須

△4: ART IV/Emulationキットは増設RAMが必須

6.1.25.12. 付属 CDROM ソフトウェア構成

・サポートCD (総合 CD-ROM)

構成パーツ
ART EX Win95/98/Me プリンタードライバー
ART EX WinNT4.0 プリンタードライバー
ART EX Win2000 プリンタードライバー
CentreWare
DocuWorks V3.0E
インストールマニュアル(機種共通)
取扱説明書
インストラクション・使用許諾契約書

・マニュアルCD

IBM 5591関連のすべてのマニュアル、設置手順書がPDF形式で入っています。
 「IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター 取扱説明書」もPDFファイルとしてこのCDで提供されています。

・Post Script Driver Library

Mac AdobePS プリンタードライバー
Mac PPD ファイル
Win95/98/Me AdobePS プリンタードライバー
Win95/98/Me PPD ファイル
Win95/98/Me AdobePS 英語プリンタードライバー
Win95/98/Me 英語 PPD ファイル
NT4.0 AdobePS プリンタードライバー
NT4.0 PPD ファイル
NT4.0 AdobePS 英語プリンタードライバー
NT4.0 英語 PPD ファイル
PS3 スクリーンフォント
Mac Adobe Type Manager
Win95/98 Adobe Type Manager
Macintosh Utility

6.1.26 オプション

オプション名	IBM オーダーナンバー
HDD	55P1187
256MB 増設メモリー	55P1188
PostScript キット	55P1189
ART / Emulation キット	55P1190

6.2 工具/サービス消耗品

6.2.1 工具

以下工具を標準として、CE BasicTool Sets 内で保守は可能である。

NO	TOOL NAME
1	5.5mmBOX DRIVER
2	SCREW DRIVER(+)100mm
3	STUBBY DRIVER(+)(-)

6.2.2 サービス消耗品

機種特有のサービス消耗品はない。



機種特有のサービス消耗品が発生した時は、別途案内する。

6.3 消耗品

消耗品名	IBM オーダーナンバー	ライフ
ブラック・トナー・カートリッジ	55P1192	12,000(イメージ)
イエロー・トナー・カートリッジ	55P1193	10,000(イメージ)
マゼンタ・トナー・カートリッジ	55P1194	10,000(イメージ)
シアン・トナー・カートリッジ	55P1195	10,000(イメージ)
ドラム・カートリッジ	55P1200	24,000(プリント)
トナー回収ボトル	55P1202	10,000(プリント)
フューザー・カートリッジ	55P1201	100,000(プリント)

6.4 モデフィケーションについて

6.4.1 記号の説明

項目	説明
[5V 実施機]	5V 実施機に適用されることを示す。
[5V 未実施機]	5V 未実施機の機械のみに適用されることを示す。
 5005	このシンボルは、シンボル内のナンバーが示すモデフィケーションで変更になった後の内容であることを示す。
 5006	このシンボルは、シンボル内のナンバーが示すモデフィケーションで変更になる前の内容であることを示す。

6.5 設置

IBM 5591設置を大きく分けると以下の4つになる。

1. プリンター本体の設置(6.5.1 参照)
2. プリンター環境の設定(6.5.2 参照)
3. プリンタードライバーのインストール(6.5.3 参照)
4. ネットワーク環境の設定(ネットワークを使用する場合 6.5.4 参照)

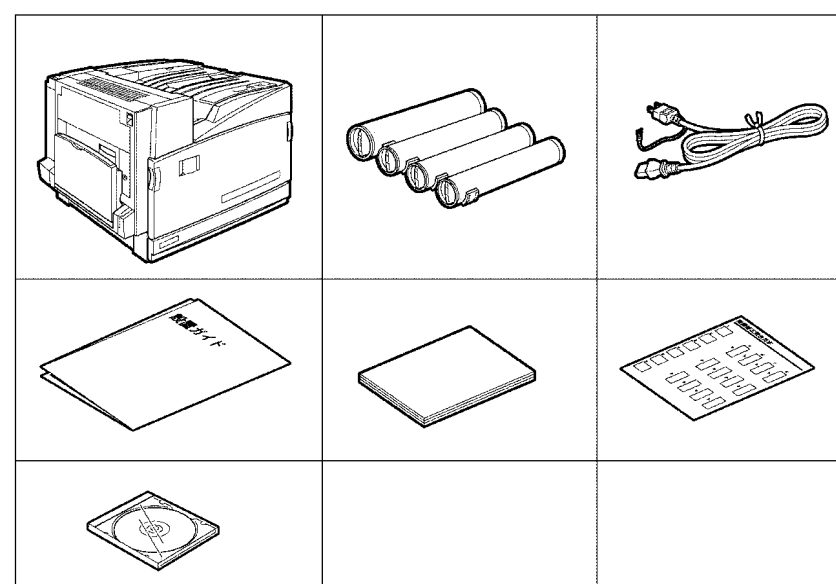
6.5.1 IBM 5591設置手順

設置手順

1. 同梱包品を確認する。(図-1)
 - (1)プリンター本体
 - (2)トナーカートリッジ(K, Y, M, C 各1本)
 - (3)電源コード
 - (4)IBM 5591設置ガイド
 - (5)階調補正用色見本
 - (6)CD-ROM(2枚:サポートCDとマニュアルCD)

他、保証書

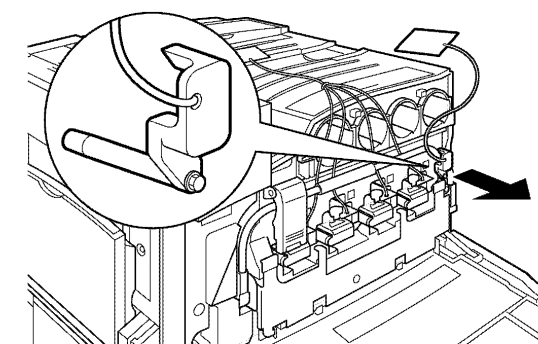
「IBM 5591カラー・レーザー・プリンター 取扱説明書」は同梱のマニュアルCDのなかにPDFファイル形式で入っています。



(図-1)j0mr6501

2. フロントカバーを開ける。

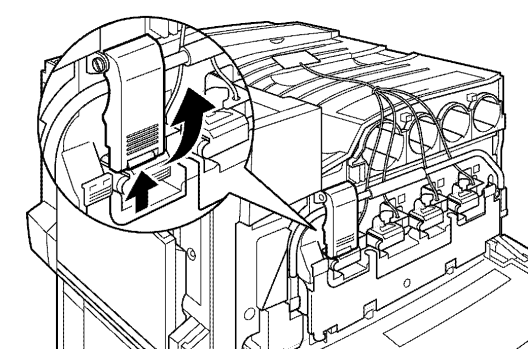
3. タグに付いている右側の黒い固定ピンを、手前に引く。(図-2)



j0mr6502

(図-2)j0mr6502

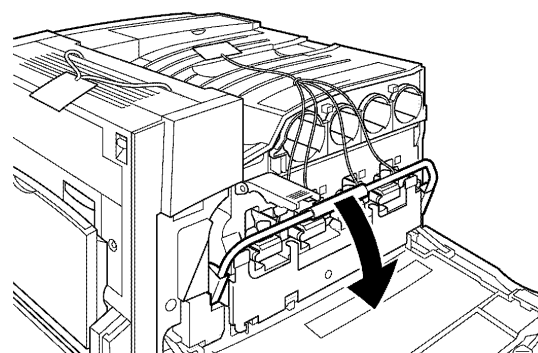
4. 正面左側にあるストッパーを持ち上げる。(図-3)



j0mr6503

(図-3)j0mr6503

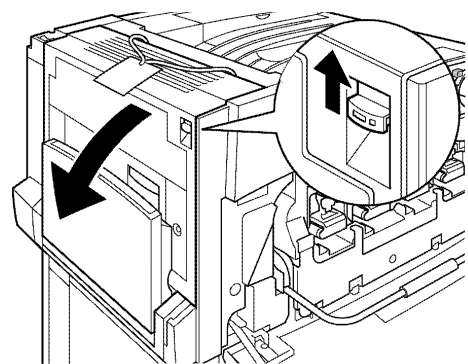
5.ハンドルを下ろす。(図-4)



j0mr6504

(図-4)j0mr6504

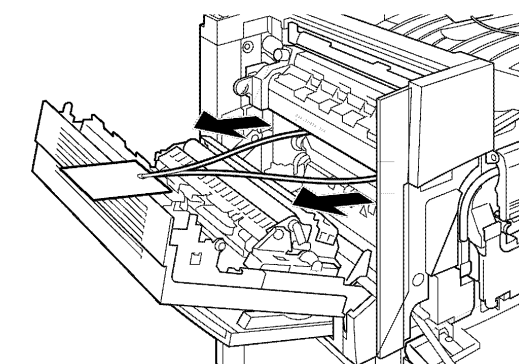
6.本体の左側カバーの解除レバーを押し上げて、左側カバーを開ける。(図-5)



j0mr6505

(図-5)j0mr6505

7.タグに付いている赤いひもを、強めに引き抜く。(図-6)

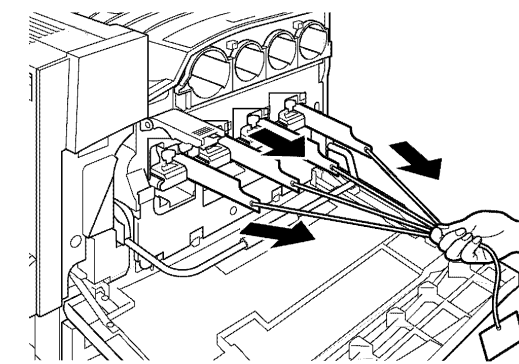


j0mr6506

(図-6)j0mr6506

8.左側カバーを閉じる。

9.本体正面のタグに付いてる4本の赤いビニールテープを、手前にゆっくり引き抜く。(図-7)



j0mr6507

(図-7)j0mr6507

10.ハンドルを上に戻す。

11.ストッパーを下ろしてロックする。

12.4本のトナーカートリッジをすべて取り付ける。

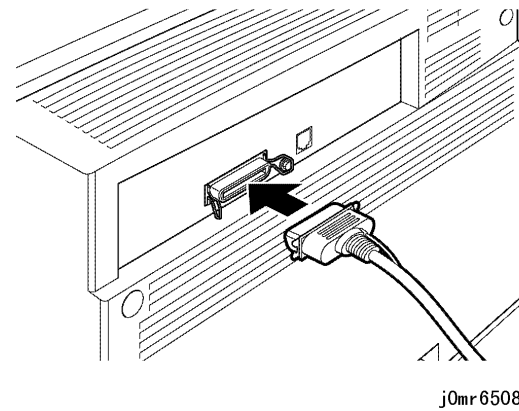
13.フロントカバーを閉じます。

14.用紙をすべてセットする。

15.インターフェースケーブルの接続をする。

・ローカルプリンタとして使用する時

- (1) 背面の平行インターフェイスコネクタに、平行ケーブルを接続します。両側のつめをたおし固定する。(図-8)

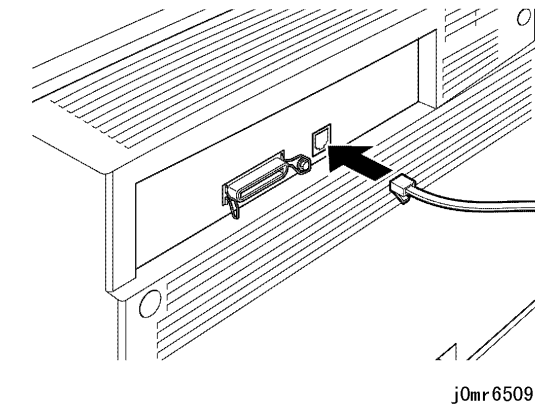


(図-8)j0mr6508

- (2) コンピューターの平行インターフェイスコネクタに、平行ケーブルを接続します。

・ネットワークプリンタとして使用する時

- (1) 背面のネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続する。(図-9)

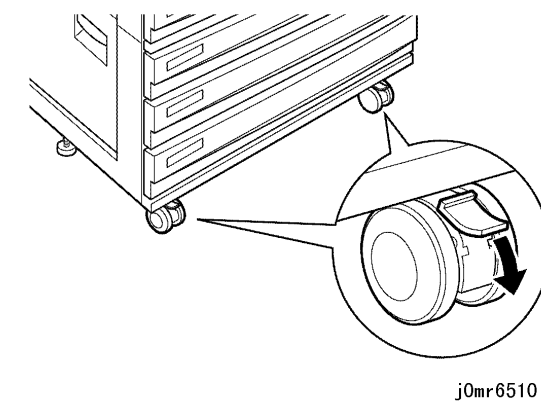


(図-9)j0mr6509

- (2) コンピューターのネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続する。

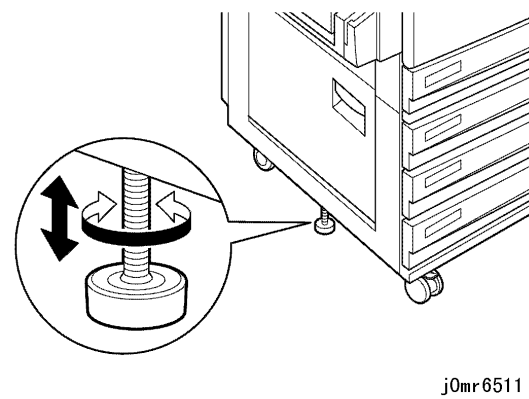
16. HDD/増設メモリーを設置する時は、“Docu Print C2220 HDD/増設メモリー”を参照して設置する。

17. キャスタをロックする。(図-10)



(図-10)j0mr6510

18. 転倒防止用ねじを回し高さを調節する。(図-11)



j0mr6511

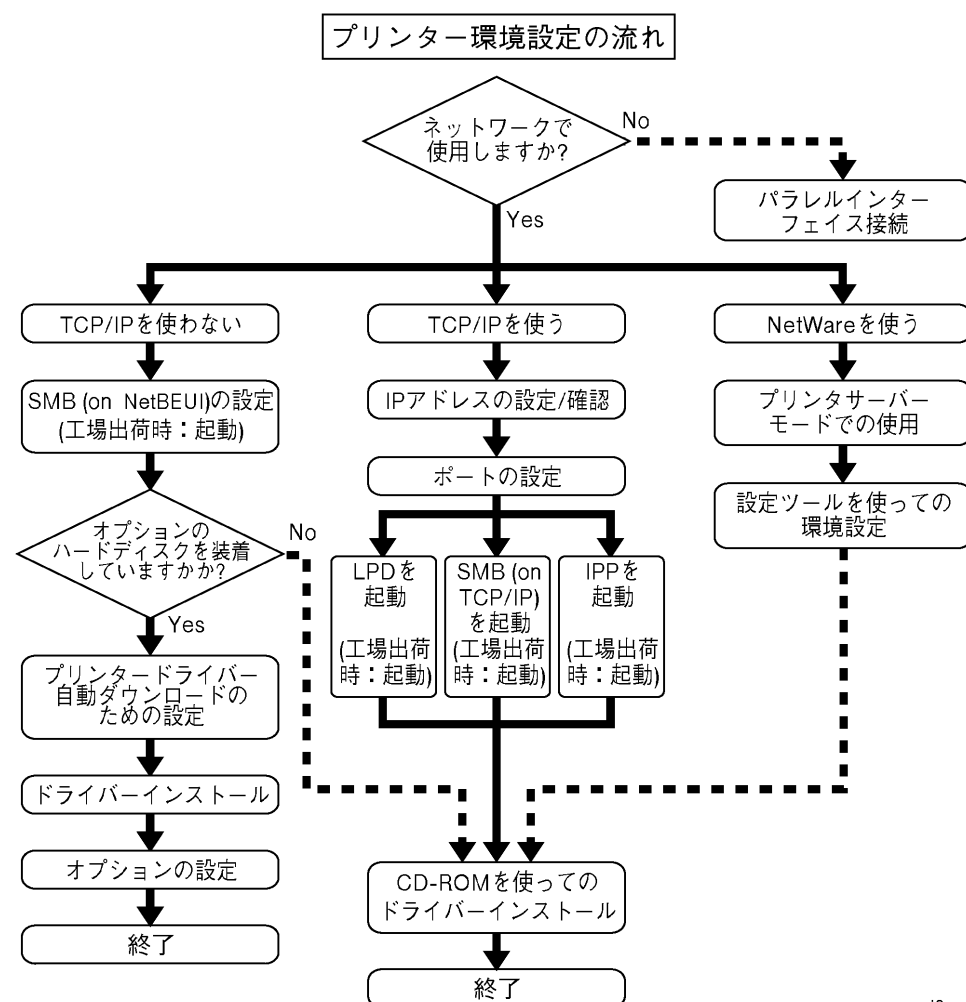
(図-11)j0mr6511

19. 6.5.2 プリンター環境の設定を参照し、環境の設定を実施する。

6.5.2 プリンタ環境の設定

6.5.2.1. プリンタ環境の設定の流れ

Windows のネットワーク環境でプリンター環境の設定をする流れを以下に記載する。(図-1)



(図-1)j0mr6512

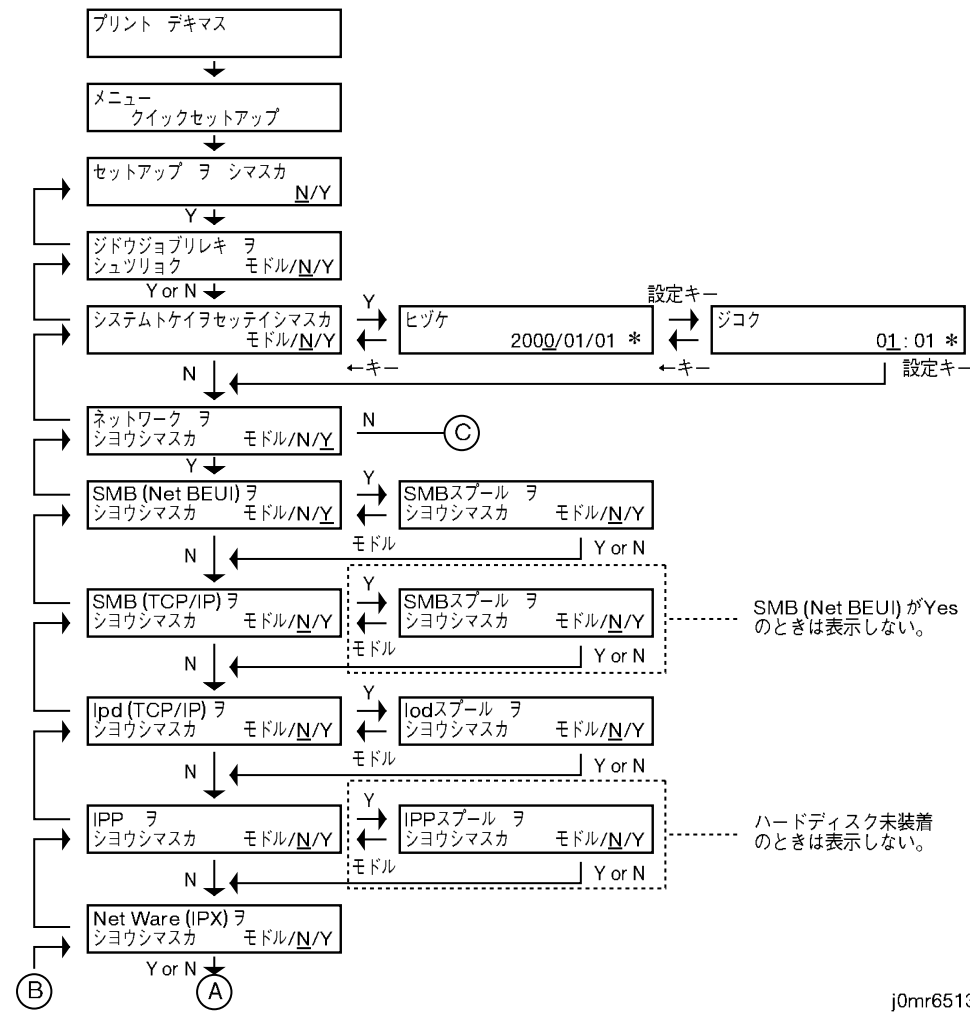
j0mr6512

6.5.2.2. クイックセットアップ方法

プリンター環境の設定をする場合、プリンター本体の[クイックセットアップ]のメニューを使用すると、必要最低限の項目が一度に設定できる。(図-1)(図-2)

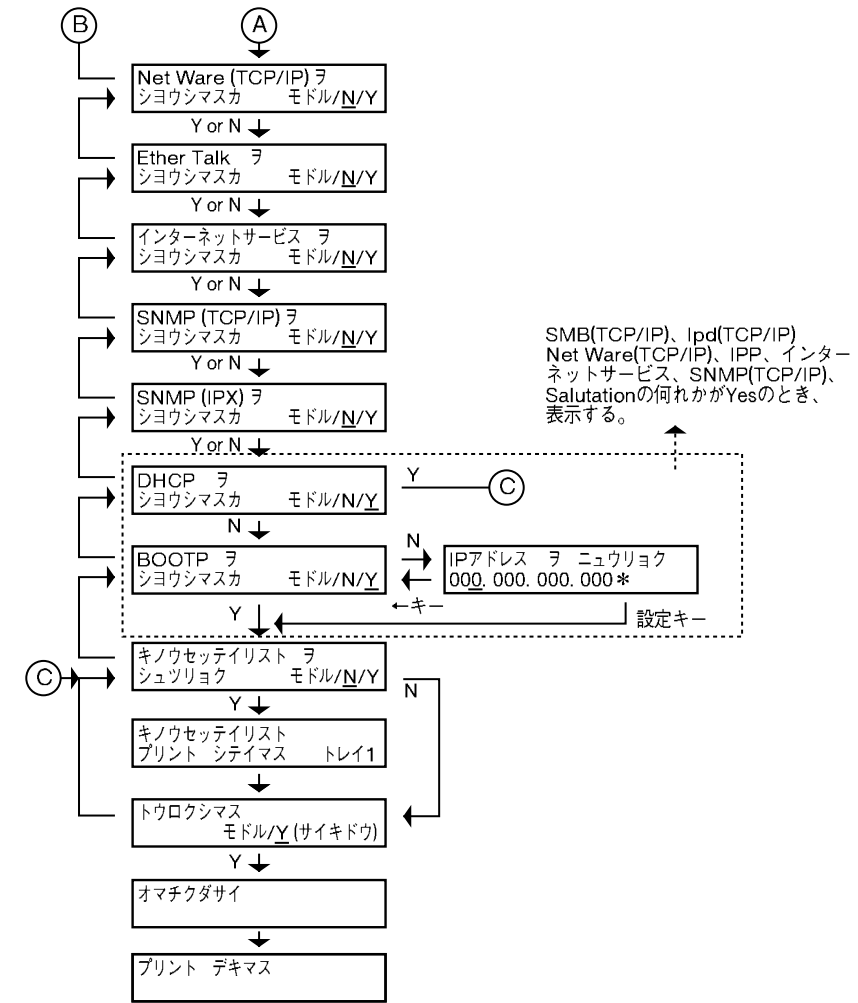
[クイックセットアップ]では、以下の設定ができます。

- ・ ジョブ履歴レポートを自動で出力するかどうかの設定
- ・ システム時計の設定
- ・ ネットワークのポート、プロトコルおよびスプールの設定 (SMB、lpd、IPP、NetWare、SNMP)
- ・ インターネットサービスを使用するかどうかの設定
- ・ DHCP を使用するかどうかの設定
- ・ TCP/IP の設定



(図-1)j0mr6513

j0mr6513



(図-2)j0mr6514

j0mr6514

6.5.3 プリンタドライバのインストール

6.5.3.1 ネットワーク上のプリンタへダイレクトに印刷する時

ネットワーク上のプリンタへサーバーを介さずにダイレクトに印刷するための、プリンタードライバをインストールする手順について以下に記載する。

手順

1. 同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. [ドライバーのインストール]をクリックする。
3. [標準セットアップ]をクリックする。
4. 同じサブネット内の TCP/IP で接続されたプリンタが検索され、[検索されたプリンタ・複合機]に一覧が表示する。
[DocuPrint C2220]のチェックボックスがオンになっていることと、その IP アドレスを確認する。このとき、インストールする必要がないプリンタのチェックボックスはオフにする。
[次へ]をクリックする。
5. 表示されたツールの中から、プリンタードライバと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックする。
6. 内容を確認して、[同意する]を選択し、[インストール]をクリックする。
7. [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンタとして設定する場合は[DocuPrint C2220]を、通常使用するプリンタを変更しない場合は[変更しない]を選択する。必要に応じて、その他の設定をする。
8. [テスト印刷]をクリックし、本機から印刷できるか確認する。
9. [完了]をクリックし、表示された[ドライバーインストールツール]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、インストールを終了する。

6.5.3.2 SMB を使用して印刷する時

SMB を使用して印刷する場合のプリンタードライバのインストール手順について説明する。

手順

1. 同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. [ドライバーのインストール]をクリックする。
[セットアップ方法の選択]画面が表示される。
[カスタムセットアップ]をクリックする。
4. [SMB プリンタを指定する]を選択して、[次へ]をクリックする。
5. [ホスト名]に SMB プリンタのホスト名を入力するか、[指定できるプリンタ]から SMB プリンタを指定し、[次へ]をクリックする。
6. 表示された内容を確認し、[はい]をクリックする。
7. 表示されたツールの中から、プリンタードライバと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックする。
8. 内容を確認して、[同意する]を選択し、[インストール]をクリックする。
9. [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンタとして設定する場合は[DocuPrint C2220]を、通常使用するプリンタを変更しない場合は[変更しない]を選択する。必要に応じて、その他の設定をする。
10. [テスト印刷]をクリックし、本機から印刷できるか確認する。
11. [完了]をクリックし、表示された[ドライバーインストールツール]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、インストールを終了する。

6.5.3.3. サーバーを経由して印刷する時

サーバーを経由して印刷する場合の、プリンタードライバーのインストール手順について以下に記載する。

手順

1. 同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. [ドライバーのインストール]をクリックする。
3. [セットアップ方法の選択]画面が表示される。
[カスタムセットアップ]のボタンをクリックする。
4. [共有プリンタを指定する]を選択して、[次へ]をクリックする。
5. [共有名]にプリンターのパス名を入力するか、[参照]をクリックして共有プリンターを指定し、[次へ]をクリックする。
6. 表示された内容を確認し、[はい]をクリックする。
7. 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックする。
8. 内容を確認して[同意する]を選択し、[インストール]をクリックする。
9. [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は[DocuPrint C2220]を、通常使用するプリンターを変更しない場合は[変更しない]を選択する。必要に応じて、その他の設定する。
10. [テスト印刷]をクリックし、本機から印刷できるか確認する。
11. [完了]をクリックし、表示された[ドライバーインストールツール]ダイアログボックスで[はい]をクリックし、インストールを終了する。

6.5.3.4. ローカルプリンタへ印刷する時

手順

1. 同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. [ドライバーのインストール]をクリックする。
[セットアップ方法の選択]画面が表示される。
3. [カスタムセットアップ]をクリックする。
4. [ローカルプリンタを指定する]を選択して、[次へ]をクリックする。
5. 使用する[ポート]と[機種]を指定し、[次へ]をクリックする。
6. 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ]をクリックする。
7. 内容を確認して[同意する]を選択し、[インストール]をクリックする。
8. [通常使うプリンタの設定]から、本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は[DocuPrint C2220]を、通常使用するプリンターを変更しない場合は[変更しない]を選択する。必要に応じて、その他の設定する。
9. [追加/変更されたプリンタ]に表示された[DocuPrint C2220]を選択し、[プロパティ]をクリックし、[プリンタ構成]タブの[設定の変更]で該当するオプションのチェックボックスをオンにする。

6.5.3.5. プリンタドライバの自動ダウンロード

Windows 95、Windows98、または Windows Me のクライアントにプリンタードライバーをインストールするときに、自動ダウンロードができるように設定できる。

注記 自動ダウンロードができるように準備する手順を説明します。なお、この設定ができるのは、管理者だけである。

手順

1. Windows クライアント上で、[ネットワークコンピュータ]、[プリンターの所属するワークグループ(工場出荷時は[WORKGROUP])]、[本機]の順に開く。
2. [Admintool]フォルダー内の SMB の設定ファイル[config.txt]を開き、自動ドライバロードが[ON(工場出荷時:ON)]に設定されていることを確認する。
3. [config.txt]を閉じる。
4. [drivers]フォルダーを開き、その中に新しくフォルダーを作成する。作成するフォルダーの名称は、任意の半角英数字で 8 文字までです。フォルダーは 2 階層まで作成できる。ここでは、[Win95]というフォルダーを作成する。
5. 同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[CD-ROM の参照]をクリックする。
6. CD-ROM 内にある Plw フォルダーに格納されている、[Win95](Windows95 の場合)、または[Win98](Windows 98、Windows Me の場合)フォルダーを開き、手順 4 で新しく作成したフォルダー内にコピーする。
7. 本機の電源を切り、5 秒以上待ってから電源を入れ直す。

6.5.3.6. 最新ドライバの入手方法

最新プリンタードライバーの入手方法について説明する。

手順

1. プリンターのプロパティ画面の[用紙]タブをクリックする。
2. [Fuji Xerox ホームページ]ボタンをクリックする。
3. 指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードする。

6.5.4 Windows ネットワーク環境の設定

SMB(Server Message Block)は、ネットワークを通して、プリンターやファイルを共有するためのネットワークプロトコルである。Windows OS では、標準でサポートされている。SMBでは、トランスポートプロトコルとして NetBEUI、または TCP/IP を使用できる。

設置手順

1. プリンター側のポートと、トランスポートプロトコルの設定をする。
 - ・ NetBEUI を使用する場合
操作パネルで、SMB インターフェイス用のポートを“キドウ”(工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを“NetBEUI”、または“TCP/IP,NetBEUI”(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定する。
 - ・ TCP/IP を使用する場合
操作パネルで、SMB インターフェイス用のポートを“キドウ”(工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを“TCP/IP”、または“TCP/IP,NetBEUI”(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定する。
2. プリンター名やワークグループ名などを変更する。
必要に応じて、SMB の設定ファイル[config.txt]を書き換え、プリンター名やワークグループ名などを変更する。設定はクライアント側から行う。
3. プリンタードライバを、クライアントにインストールする。

6.5.5 NetWare 環境の設定

ここでは、本機を Novell 社製 NetWare のネットワークに接続した場合の、動作環境および設定手順について説明する。

6.5.5.1. コンピュータ環境

NetWare ネットワークを使用して印刷する場合の環境は、次のとおりである。

- ・ 適応するファイルサーバー
Novell NetWare 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1
- ・ 適応するクライアント OS
Microsoft Windows 95 Operating System 日本語版 Service Pack 1 以上*
Microsoft Windows 98 Operating System 日本語版
Microsoft Windows Me Operating System 日本語版
Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版 Service Pack 4 以上
Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
*Microsoft Internet Explorer 4.0 以上が必要である。
- ・ 適応する NetWare クライアント
 - <Windows 95、Windows 98 の場合>
 - ・Novell Client for Windows 95、Windows 98 ver3.1、ver3.21
 - ・NetWare ネットワーククライアント
 - <Windows NT 4.0 の場合>
 - ・Novell Client for Windows NT 4.0 ver4.6
 - ・Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71
 - <WindowsR 2000 の場合>
 - ・Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71
 - <Windows Me の場合>
 - ・Microsoft Netware Client

6.5.5.2. インターフェイス

サポートするフレームタイプは、次のとおりである。

- ・Ethernet II 仕様
- ・IEEE802.3 仕様
- ・IEEE802.3/802.2 仕様
- ・IEEE802.3/802.2/SNAP 仕様
- ・IEEE802.2/802.5 仕様
- ・IEEE802.2/802.5/SNAP 仕様

IPX/SPX の場合、本機は、接続されているネットワーク上に各フレームタイプのパケットを送出し、最初に応答したフレームタイプで自動的に起動する。(工場出荷時の場合)
ただし、同一ネットワーク上にほかのプロトコルが同時に存在する場合は、Ethernet II を使用する事。

TCP/IP の場合、自動的に Ethernet II が起動する。

6.5.5.3. 設定の流れ

1. 機能設定リストを印刷する。
「機能設定リスト」で、ネットワークアドレスと、装置名を確認する。
2. CentreWare ドライバー&ネットワークユーティリティの CD-ROM を使用して本機を設定する。
3. プリンタードライバーをインストールする。

6.5.5.4. バインダリー接続の時の設定手順

操作手順

1. 対象の NetWare サーバーに、管理者の権限を持つユーザーでログインする。
2. CentreWare ドライバー&ネットワークユーティリティの CD-ROM を、お使いの CD-ROM ドライブにセットする。
3. [管理者ツール]をクリックする。
4. [NetWare 接続プリンターの設定]をクリックし、DocuPrint C2220 を選択する。
5. [プロトコル]の[TCP/IP]、または[IPX]を選択する。
6. 必要に応じて検索方法を選択して、[次へ]をクリックする。
7. 機能設定リストでネットワークアドレスを確認し、[使用できる FujiXerox プリンタ]の一覧からプリンターを選択する。
[次へ]をクリックする。
8. [OK]をクリックする。
9. [NetWare の接続タイプ]で[バインダリー]を選択する。
[次へ]をクリックする。
10. [プリンタ名]に任意のプリンター名を入力し、[次へ]をクリックする。
11. キュー名を設定する。
キューを作成する[サーバー]を選択し、[キュー名]に任意のキュー名を入力する。
[次へ]をクリックする。
12. 設定内容を確認し、[完了]をクリックする。
13. [閉じる]をクリックする。
設定が完了する。

6.5.5.5. NDS 接続の設定手順

操作手順

1. 対象のツリーとコンテキストに、管理者の権限を持つユーザーでログインする。
2. CentreWare ドライバー&ネットワークユーティリティの CD-ROM を、お使いの CD-ROM ドライブにセットする。インストールメニューが起動する。
3. [管理者ツール]をクリックする。
4. [NetWare 接続プリンターの設定]をクリックし、DocuPrint C2220 を選択する。
5. [プロトコル]の[TCP/IP]、または[IPX]を選択する。
6. 必要に応じて検索方法を選択して、[次へ]をクリックする。
7. 機能設定リストでネットワークアドレスを確認し、[使用できる FujiXerox プリンタ]の一覧からプリンターを選択します。[次へ]をクリックする。
8. [OK]をクリックする。
9. [NetWare の接続タイプ]で[NDS]を選択する。
[次へ]をクリックする。
10. [NDS ツリー]でツリーを、[コンテキスト]でコンテキストを選択する。
[次へ]をクリックする。
11. [プリンタ名]に任意のプリンター名を入力し、[次へ]をクリックする。
12. キュー名を設定する。
[ボリューム]、[キュー名]、[新しいキューのコンテキスト]を入力する。[次へ]をクリックする。
13. 設定内容を確認し、[完了]をクリックする。
14. [閉じる]をクリックする。
設定が完了である。

6.5.5.6. その他の設定

必要に応じて以下の項目も設定する事。ただし、これらの項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はない。

- ・ プリントモード指定(工場出荷時:自動切り替え)
- ・ JCL スイッチ(工場出荷時:有効)
- ・ NetWare 受信バッファ(工場出荷時:256KB)
- ・ トランスポートプロトコル(工場出荷時:TCP/IP、IPX/SPX)
- ・ NetWare の受信バッファ(工場出荷時:256K)

CentreWare Internet Services を使用して、さらに以下の項目を設定できる。

- ・ 装置名(工場出荷時:FX - xxxxxx)
- ・ 動作モード(工場出荷時:ディレクトリーPServer モード)
- ・ ツリー名
- ・ コンテキスト名
- ・ ファイルサーバー名
- ・ 通知言語(工場出荷時:日本語)
- ・ キュー探索間隔(工場出荷時:4 秒)
- ・ サーバーの検索回数(工場出荷時:上限なし)
- ・ パスワード
- ・ フレームタイプ(工場出荷時:自動)
- ・ アクティブディスクバリアー(工場出荷時:有効)
- ・ TBCP フィルター(工場出荷時:OFF)

6.5.6 UNIX 環境の設定(プリント側のみ)

6.5.6.1. 対象クライアント

本機の lpd が対象とするクライアントは、次のとおりである。

- ・ SunOS 4.1.4 を実装する SUN ワークステーション
- ・ HP-UX11.0 を実装する HP9000 シリーズワークステーション
- ・ Solaris 2.X を実装する Sun ワークステーション(lp/lpstat/cancel 使用可能)

6.5.6.2. インターフェイス

本機の lpd は、次のインターフェイスで使用できる。

- ・ Ethernet 100Base-TX
- ・ Ethernet 10Base-T

適応するフレームタイプは、Ethernet II に準拠している。

6.5.6.3. プリンター側の設定

本機を UNIX のネットワーク環境で使用するには、操作パネルで次の設定をする必要がある。

- ・ IP アドレスを設定する(IP アドレスが設定されていない場合)
- ・ lpd ポートを“キドウ”(工場出荷時:起動)にする

設定の流れ

1. IP アドレスを設定する。
2. lpd ポートを“キドウ”(工場出荷時:起動)に設定する。
3. 使用環境に応じて、[プリントモード指定](初期値:自動)、[JCL](初期値:有効)、[lpd スプール]を設定する事。

6.5.7 インターネット印刷の設定

6.5.7.1 システム構成

本機は、IPP(Internet Printing Protocol)をサポートしている。Windows Me、Windows 2000 は、IPP プリンターに印刷するためのクライアントソフト(IPP ポートモニタ)を装備しているため、[プリンタの追加]ウィザードから、IPP 対応プリンターを指定できる。IPP を利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンターに印刷できる。

- ・ TCP/IP を使用
- ・ Microsoft Windows 2000 Server 日本語版、Microsoft Windows Professional 日本語版、または Microsoft Windows Me 日本語版が対象

6.5.7.2 設定の流れ

設定の流れ

1. プリンター側の設定
プリンターの操作パネル、または[CentreWare Internet Services]を使って、IP アドレスを設定して、IPP 用のポートを“キドウ”(工場出荷時:停止)にする。
2. クライアント側の設定
クライアント側で、印刷先の設定とプリンタードライバーをインストールする。

6.5.7.3 印刷先の設定とプリンタードライバーのインストール(Windows2000)

操作手順

1. [スタート]、[設定]、[プリンタ]の順に選択する。
[プリンタ]ウィンドウが表示される。
2. [プリンタの追加]を開く。
3. [次へ]をクリックする。
4. [ネットワークプリンタ]を選択して、[次へ]をクリックする。
5. [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します]を選択し、[URL]に以下の URL を入力して、[次へ]をる。
6. [OK]をクリックする。
7. [CentreWare ドライバー&ネットワークユーティリティ]の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
8. [ディスク使用]をクリックする。
9. 表示されたダイアログボックスで[x: ¥ Plw ¥ Win2000]と入力し、[OK]をクリックする。
10. [DocuPrint 2000 ART EX]を選択して、[OK]をクリックする。
11. 本機を通常使用する場合は[はい]を、使用しない場合は[いいえ]を選択して、[次へ]をクリックする。
12. [完了]をクリックして終了する。

6.5.7.4 印刷先の設定とプリンタードライバーのインストール(Windows Me)

操作手順

1. [スタート]、[設定]、[プリンタ]の順に選択する。
[プリンタ]ウィンドウが表示される。
2. [プリンタの追加]を開く。
3. [次へ]をクリックする。
4. [ネットワークプリンタ]を選択して、[次へ]をクリックする。
5. プリンターの[ネットワークパスまたはキューの名前]に以下の URL を入力して、[次へ]をクリックする。
http://[本機の IP アドレス]/ipp
6. [CentreWare ドライバー&ネットワークユーティリティ]の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする。
7. [ディスク使用]をクリックする。
8. 表示されたダイアログボックスで[x: ¥ Plw ¥ Win98]と入力し、[OK]をクリックする。
9. [DocuPrint 2000 ART EX]を選択して、[次へ]をクリックする。
10. プリンターの名前を入力する。
11. 本機を通常使用する場合は[はい]を、使用しない場合は[いいえ]を選択して、[次へ]をクリックする。
12. インストール後に、テストページを印刷する場合は[はい]を、印刷しない場合は[いいえ]を選択して、[完了]をクリックして終了する。

6.6 撤収

注記 この撤収は、移動撤収のみに適用する。(本来の撤収は、CSD によるものである。)

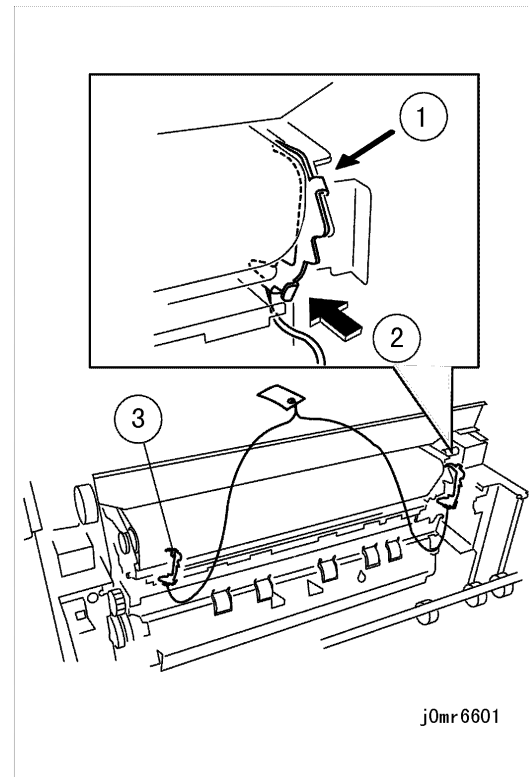
前準備

以下の撤収用ブラケットが確保していること。
お客様に無い時は、パーツとして発注する事。

Stopper Asssmbly(PL5.2):3K 11690

移動撤収手順

1. Front Cover を開け、レバーを下げる。
2. Inverter Transport Assembly を開く。
3. Fuser CRU を外す。
4. ブラケットを取り付ける。(図-1)
 - (1) 図の様に、ブラケットを IBT フレームに引っ掛ける。
 - (2) ブラケット下部を図の矢印の様に押し込む。
 - (3) 同様にリアー側もブラケットを取り付ける。



(図-1)j0mr6601

5. Fuser CRU を取り付ける。

6. ブラケットに取り付けられているタブがお客様の見やすい位置に置ける様 Inverter Transport Assembly を閉じる。
7. レバーを上げ、Front Cover を閉じる。
8. 必要によりテーピングをする。